

新しい国内措置の見直しに伴うリスク評価

— 諮問内容 —

1 BSE検査

- ・と畜場におけるBSE検査対象月齢の見直し
- ・BSE検査技術の高度化についての研究

2 特定危険部位の除去・交差汚染防止

- ・と畜場におけるSRM管理状況の実態調査の定期的実施
- ・SRMによる枝肉等の汚染防止措置の評価方法に関する研究開発

3 飼料規制の実効性確保の強化

- ・肉骨粉輸入禁止(実施)に加え、飼料の輸入、販売、使用段階における検査・指導など交差汚染防止対策の強化(届出義務)
- ・個体識別制度、死亡牛検査の確実な実施

4 調査研究の推進

- ・牛などの接種実験など調査研究の一層の推進

リスク評価の考え方(論点メモ)

わが国における20ヶ月齢以下の牛に由来するリスクの定量的評価

検討すべきデータ

- 英国の自然発症年齢をどう評価するか？
- 英国の実験感染例の評価: 感染価の考え方
- 日本のBSE検査データの評価
- 英国の飼料規制等の効果

日本でのと畜・飼料規制の検証・予測

- 日本での飼料規制等のリスク回避効果・予測
- わが国における今後の20ヶ月齢以下の牛に由来するリスクの定量的評価

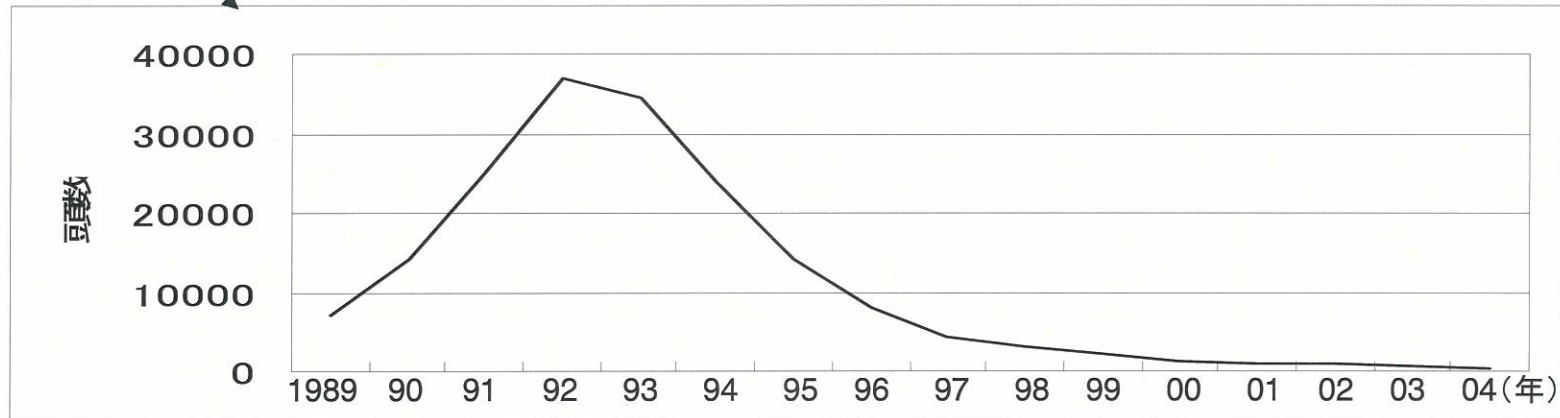
英国での飼料規制の効果

肉骨粉等飼料規制(1988年)

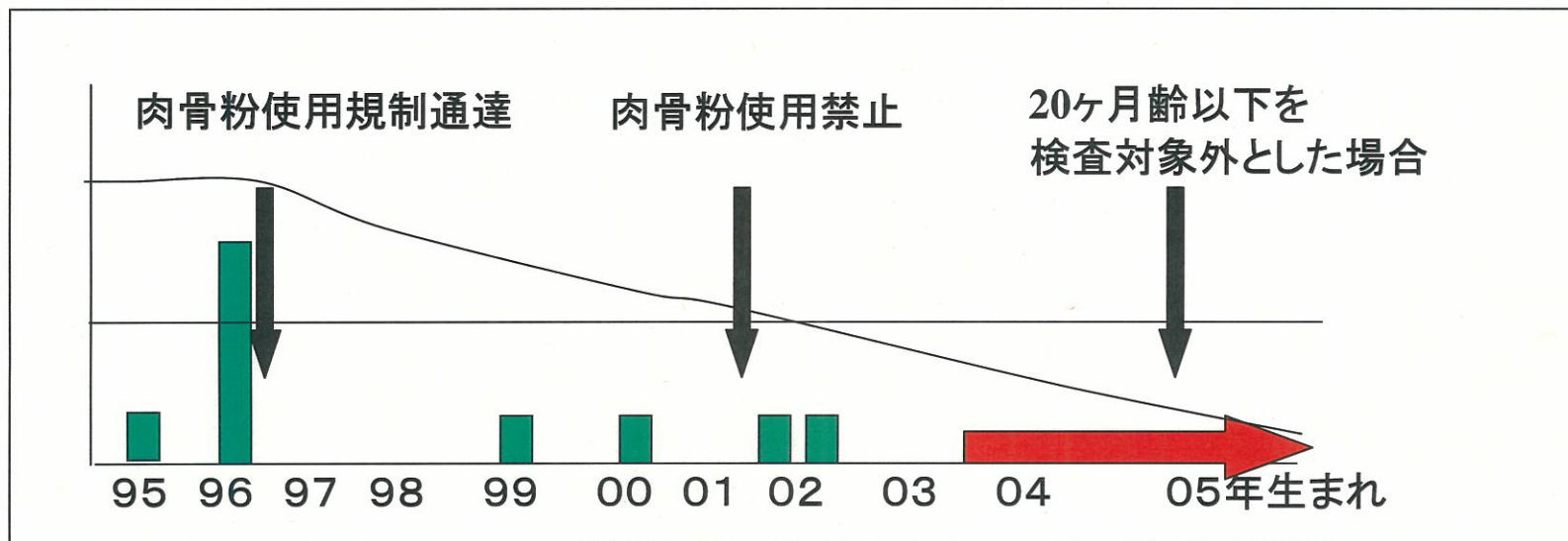
肉骨粉等飼料完全禁止(1996年)

肉骨粉等飼料規制効果
(導入約5年後)

肉骨粉等飼料完全禁止効果
(導入約5年後)



日本での飼料規制の効果



日本におけるBSE感染牛の出生年月日と確認年月日

